

## 論文謝辞等における研究費に係る体系的番号の記載について

### 1. 趣旨

(令和 2 年 1 月 14 日 競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ、研究資金に関する関係府省連絡会申し合わせ より)

第 5 期科学技術基本計画（平成 28 年 1 月閣議決定）等の政府方針に基づき、客観的根拠（エビデンス）に基づく政策の企画立案（EBPM）、評価、政策への反映等に向けた取組が進められている中、政府の予算で実施される事業から生み出される成果の可視化・分析は重要な課題の一つとなっている。

研究開発関連の事業から生み出される成果の一つである論文には、研究に寄与した研究資源が謝辞情報として記載されることが多く、この謝辞情報は、事業から生み出された成果の可視化・分析を行う際の有力な手段となり得る。また、論文投稿時に事業情報や課題番号の入力を求められることも多くなっている。現状では、一部事業については、独自に課題番号を付与し、課題管理等に活用されている。一方、その他の事業については、論文等の成果への記載について注意喚起が十分でないこと、論文等の成果物における事業名の表記揺れが多いことなどから、成果の可視化・分析を行う上で、信頼性の低下や成果の過小評価が懸念されている。

以上を踏まえ、各事業と論文を適切に紐づけて研究成果・研究動向等との関係を明らかにし、エビデンスベースの各事業各機関の評価や政策立案等の参考の一つとして活用するため、研究費ごとに体系的番号を付与するとともに、論文の謝辞や論文投稿時において体系的番号を記載するよう周知徹底を図る。

### 2. 統合的気候モデル高度化研究プログラムにおける体系的番号

各領域テーマの体系的番号は以下のとおりとする。

基本形	J	P	M	X	D	0	7	(e-Rad 課題番号 8 桁)
-----	---	---	---	---	---	---	---	------------------

領域テーマ A 「全球規模の気候変動予測と基盤的モデル開発」

JPMXD0717935457

領域テーマ B 「炭素循環・気候感度・ティッピング・エレメント等の解明」

JPMXD0717935715

領域テーマ C 「統合的気候変動予測」

JPMXD0717935561

領域テーマ D 「統合的ハザード予測」

JPMXD0717935498

### 3. 論文中の謝辞（Acknowledgment）の記載

論文の謝辞に各領域テーマの体系的番号を記載すること。以下に記載例を示す。

(1) 論文に関する事業が一つの場合（体系的番号「JPMXD0717935457」）

【英文】

This work was supported by the Integrated Research Program for

Advancing Climate Models (TOUGOU) Grant Number JPMXD0717935457 from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan.

【和文】

本研究は文部科学省統合的気候モデル高度化研究プログラム領域テーマA「全球規模の気候変動予測と基盤的モデル開発」JPMXD0717935457の助成を受けたものです。

(2) 論文に関する事業が複数(二つ)の場合(体系的番号「JPMXD0717935457」「JP12345678」)

【英文】

This work was supported by the Integrated Research Program for Advancing Climate Models (TOUGOU) Grant Number JPMXD0717935457 from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan and JSPS KAKENHI Grant Number JP12345678.

【和文】

本研究は文部科学省統合的気候モデル高度化研究プログラム領域テーマA「全球規模の気候変動予測と基盤的モデル開発」JPMXD071793545及びJSPS 科研費 JP12345678の助成を受けたものです。

以上